

3/4(日) 雑木林塾交流会 と 環境市民懇談会・全体会

会場: 文化会館たづくり 映像シアター/1002 学習室

全体会 18年度「ちょうふ環境市民懇談会全体会」を開催します。2001年の設立から丸5年を経て、市内の樹林地の笹刈りや樹木の伐採などの保全活動を行うグループが5箇所で年間を通して活動を継続しているなど、市民の活動が充実してきました。

今回はその5年の活動成果をまとめた資料を作成し、この成果と課題を共有して、次の段階に向かって新たな視点で再出発できる起点にしたいと考えています。また、「全体会」は、「懇談会」の1年の活動の報告と次年度の運営委員を選出する場でもあります。「懇談会」運営の役割を担える方は、ぜひご参加・ご連絡ください。

交流会は、 雑木林の保全に限らず、調布市の自然環境に興味のある方々が一堂に会し、情報や意見の交換をし合い、交流を深めることによってそれぞれの活動がより一層充実し、発展することを目指して開催されます。今回は環境保全課主催の雑木林塾卒業プログラムとして講演会と、雑木林保全活動市民グループとの交流会も合わせて行われます。お楽しみに！

プログラム

- 10:00~11:00 講演
「危険な生き物とのつきあい方」
講師 倉持武彦氏
*** 会場 映像シアター ***
- 11:00~12:00 交流会 活動団体の紹介・PR
*** 会場 1002 学習室(以下同じ) ***
・市内の雑木林をフィールドに活動している市民グループ
・ちょうふ環境市民懇談会
- 12:00~13:00 休憩 (軽食)
- 13:00~14:30 交流会 雑木林塾ふりかえり
・本年度受講生の体験発表
・過去の受講者による体験談
- 14:30~15:00 ちょうふ環境市民懇談会全体会
・18年度活動紹介と19年度活動方針
関連活動団体の紹介・PR
・次期運営委員の選出

なお、軽食実費負担として当日お一人500円を徴収させていただきます

調布の自然 水鳥編 カイツブリ

初詣の帰り道、野川沿いを歩いていたら、「あそこにコガモの親子がいるんだけど、もうすぐ潜るんだよ。」という男の子の声につられ川面に目をやれば常連のカルガモに混じり一羽のカイツブリ、どうやら親にはぐれた幼鳥のようで辺りをきょろきょろと不安そうな様子。カルガモやオナガガモが遠く離れると、あわてて潜り、岸辺の茂みに避難、彼らが近くに戻ってくると安心したように群れに近寄っています。多摩川では潜った後どこに顔を出すのか見当もつかなかったのが今回は潜っているようすがよく見えました。早く無事に仲間と再会すると良いな、と思いながらもなんか得した気分です。

カイツブリ科(留鳥/漂鳥)

小型の丸っこい体型でどがつた嘴にキョトンとした顔つきがかわいらしい。ピリピリッと鳴きながらはばたき水面をけて助走し、低く短く飛翔する。警戒するときや餌を採るときに跳び上がるようにしてよく潜る。多摩川では通年みられるが、市内の野川では少ない。

左記、現地は調布警察の横「馬橋と車橋の間」です。多摩川の上河原堰では冬には“カンムリカイツブリ”が見られましたが工事が始まり、いなくなりました。

(S.A.)



カニ山の会

1/13(土) 参加者 10名
 雨のせいで3ヶ月ぶりの樹林での作業だ。落葉樹の葉がすっかり落ちた明るい林の中は、去年刈り残したササや常緑樹の中低木が目につく。ササ刈、落枝拾い、次回以降に剪定する常緑樹の印つけ、そして清掃を実施。



実生のヤブコウジを保護する

途中、近隣の方から「主旨は分かる、しかし林内立入抑止や野草保護の観点からササ刈りはしないほうがいいのでは」とのお訊ねがあった。それに対し「ゾーンや場所で管理方法を変える、作業と平行して毎年植物調査などのモニタリングを実施、作業は少しづつしかやらない」などお話した。また、より理解していただくために活動への参加にお誘いした。

ふりかえりでは、たまっていく刈ったササや枝木の処理の難しさを議論した。昔あった循環のサイクルを回復できないか？根本は、今はない様々なリング(森 農地、街の民 農民)の新たな創造か？深い話になった。

帰り下佐須青年会主催のどんど焼きを見た。てんこ盛りの灰の上で竹の枝先にさしたもちを子供達が焼いていた。「ああ、リングができてる、できてる」私たちも少しずつリングを創っていかなくては...。

(小林)

ちょうふあちこち 佐須四丁目

佐須のどんど焼き 一月十三日
 佐須では毎年、今では珍しくなった「どんど焼き」が行われています。大きなたるまを先につけた竹を立てて、その周りにお正月のしめ飾りや松飾りなどを積み上げて焼きます。書き初めも一緒に燃やし、その灰が高く舞い上がると習字が上手になるそうです。今ではなかなか見る機会のない大きな炎に、今年も多くの子ども達が集まりました。おき火になったら、みんなのお楽しみ、竹の枝に団子を刺してあぶって食べます。火の熱さを顔に感じながら焼くのはドキドキの体験だったようです。

(Y・I)



雑木林塾 市民グループと共に

1月14日、若葉町3丁目第3緑地で雑木林塾を開催しました。

冒頭、年明け最初の活動ということで、市民グループの方々と一緒に、通称「上の広場」で山の神に安全祈願。神官役の中原さんが祝詞を読み上げ(山の神について説明)、御神木(その場で決めたイヌシデ)に長老(?)役の丸山さんがお神酒(ワンカップ)を奉納。そして全員で二礼二拍手一礼。里山でもこうした儀式が行われていたことを初めて知りました。

前回(12月)に引き続き、大坂沿いのササ刈りや、シュロの伐採に受講生が奮闘。だいぶ見通しがよくなりました。あいかわらずごみが多いものの、前回の作業後に投棄された形跡はなく、一同「成果」を喜び合いました。こういう面でも、人の手によって適切に維持管理されることの大切さを実感してもらえたと思います。また作業の合間にはヒサカキの幹でネームプレート作り。鋸を手にするのはx年ぶりという方も。

市民グループの方々は「御神木」の周囲を思い切ってきれいに整え、真っ暗だった藪が少しは里山らしく見えてきました。「将来はここから富士山を臨みたい」と小池講師。

作業を終えて入間地域福祉センターに戻り、道具の手入れとちょっとしたロープワークの講習。予定の時間が過ぎても熱心な受講生に感服しました。次回のカニ山も楽しみです。(環境保全課 青柳)



人間樹林

1月21日は、落ち葉かきをして久しぶりに汗を流しました。30分ほどの時間でも落ち葉だめに溜まると達成感があります。落葉した雑木林広場は明るくなりあらためて手をつけていないツバキの森の暗さが気になります。緑地整備事業の「散策路」のコース取りと入り口付近の車止めなど要望を市に伝えました。

マテバシイ広場の整備と方形枠の補修は昨年からの課題です。1月の植物は落ち葉の下からキランソウやスマレが春にむけての準備をしていました。

来年度の活動計画では、今後の方形枠調査や植生調査のあり方、広範囲な樹林地整備、図鑑づくりやNTT研修所跡地を含め崖線保全のネットワーク キランソウのロゼッタ 冬の樹林地でひときわ映える万両の実



環境保全課の窓

地球温暖化が取りざたされていますが、やっぱり冬は寒い...と実感しているこの頃です。



寒いのが大の苦手な私は、南の島でのんびり暮らせたらいいなあ、などと無責任な白昼夢に耽ることもしばしばですが、私の住む八王子ではこの時季、白銀に輝く奥多摩・甲州の山並や、冬ならではの見事な富士の勇姿を眺望することができ、ちょっぴり浮世を忘れさせてくれます。やはり日本の四季の風景は美しいとしみじみ思います。

そんなときふと頭をよぎるのは、こどもエコクラブに参加してくれている子どもたちのことです。今やどのご家庭でも、どの施設でも、どの交通機関でも、おおむね冷暖房が完備されていて、歩行中か映像でしか四季の移り変わりを感じる機会がありません。生れたときからそういう環境の中で育っているのですから、ほんの数十年前の日本人の営みをまったくと言っていいほど知りません。そういう営みがあったことさえ知らない子どもたちも多い中、エコクラブの子どもたちは多摩川の彼方に沈む夏の夕日を見たり、今月は冬のカニ山で炭焼き体験をしたりと、季節感を肌で感じることが出来ます。

エコクラブの活動は、伝統的な技法や暮らしの知恵を身につけるとか、その後の人生に何か決定的な影響を及ぼすとか、そんな大仰なものではありませんが、いつの日か、こんなことがあったっけ、と思い出すときがきつとくると思うのです。それだけで十分。「こんなことがあったっけ」の数が多ければ多いほど、その人の人生は豊かなのだと思います。(青柳)

水のお話 田んぼの学校番外編 5

きれいな水と空気をつくる田んぼ

学校の田んぼの水は、神代農場からの湧水を主な水源とする佐須用水の支流から取り込んでいます。この用水は、下水処理しなくてもよいほどきれいな水ですが、支流は直接下水処理場に送られてしまいます。また本流の水は、



野川に流れ込んだ後、有機物などが水中に増えていくため、下流の二子多摩川付近で多摩川に合流する前に、砂礫を使った微生物による浄化処理がおこなわれます。

これと同様に、無農薬の田んぼの水中では、さまざまな水生植物や生物、微生物が繁殖します。この生き物たちの働きにより「緩やかな速度のろ過作用」(緩速ろ過)が行われるので、地下にしみこむ水は大変きれいになるということです。また、除草剤を使わない田んぼでは、稲を含め、藻類や植物プランクトンなどの光合成をおこなう生き物たちのおかげで多くの二酸化炭素が取り込まれ、酸素が作られます。田んぼは、水の浄化と二酸化炭素の削減にとっても役立っています。田んぼを浄水場にたとえる人もいます。調布の里山の自然環境と豊かな生態系を保つために欠かせない田んぼを少しでも多く残し、増やして行きたいと願うばかりです。

(田んぼの学校 こんどう)

ちょうふ環境市民懇談会 第42回運営会議

1月9日(火)たづくり301会議室にて

ちょうふ環境市民懇談会活動記録について

・07年3月の全体会では活動記録のダイジェスト版を配付予定。これまでの活動をきちんと記録に残すため、後日詳細版を作成する。

全体会シナリオについて

・全体会で配布する資料は「活動記録ダイジェスト版」と「自然だより」とする。他参加団体のパネル等プレゼン方法については、各団体に任せる。午前中の活動紹介団体は雑木林に関係する団体とし、その他の参加団体は午後の全体会の中で紹介を行う。

第4回 豊かな緑・水・景観を守り育てるための取り組み検討会

1月15日(月)たづくり1002学習室にて

先日のワーキングにおいて佐須・深大寺地区におけるモデル事業実施計画について、各委員のメモを検証シートにまとめた。それを元にハード面とソフト面両方の10以上に亘る項目に関して検討した。報告書案を確認したが時間切れとなったため、1/22までに報告書案に関する意見を事務局に提出し、次回2/19に全員で検討することとした。

市民活動カレンダー & おしらせ

全ての会でメンバー随時募集中！

環境モニター

2/3 (土) 10:00~12:00

集合場所：たづくり会議室 301号室

内容：・オリジナル図鑑完成に向けて
・今年度の振り返りと来年度活動予定

持ち物：図鑑・筆記用具等

市内の自然環境調べや「そぞろ歩き」案内を行っています。

問合せ：環境保全課 042-481-7086

カニ山の会

2/10 (土) 9:30~12:30

集合場所：深大寺自然広場、野草園横

内容：雑木林塾との協働作業 笹刈りなど

定例活動日：毎月第2土曜に東樹林の保全活動を行っています。参加希望の方は直接集合場所へおいで下さい。

(年会費500円+保険料)

問合せ：環境保全課 042-481-7086

若葉町3丁目第3緑地 - 保全活動

2/11(日) 10:00~12:00

集合場所：入間地域福祉センター

内容：保全活動

第2日曜を活動日としています。

問合せ：緑と公園課 042-481-7083

入間・樹林の会

2/18(日) 9:30~12:30

内容：落ち葉かきとマテバシイ広場の整備他

集合場所：いずれも入間地域福祉センター

原則毎月第3日曜に活動しています。

問合せ：環境保全課 042-481-7086

凸凹森の会

新たな名称で市民活動の自主グループとして再出発しました

2/25(日) 10:00~12:00

内容：保全活動

原則第4日曜に活動しています。

問合せ：緑と公園課：042-481-7081

雑木林塾

2月10日(土) 10:00~15:00

今回は深大寺自然広場(カニ山)東樹林で、「カニ山の会」の紹介を受けた後、カニ山の会のメンバーと共に笹刈りや枯れ枝の伐採などの体験活動を行います。

午後は佐須ふれあいの家においてワークショップ。

会議日程

ちょうふ環境市民懇談会・運営会議

2/13(火) 18:30~20:30

たづくり 301会議室

内容：3/4の雑木林交流会と全体会開催についての詳細

この運営会議にはどなたでも参加できます。

資料準備のため事前に環境保全課に連絡下さい。



一月十三日
佐須の水路にはもうこんなに沢山のクレソンが・・・
今年は暖かいせいか一気に春になったような光景です。

水鳥観察の勧め

一面に載せた野川は川幅が狭いので、鳥の観察には向いて

います。

彼等に怖がられないように双眼鏡(低倍率で充分)で上からじっくり観察すると、見慣れているはずのカルガモやオナガガモの羽の色彩が美しいことに感激することまちがいなしです。



(S)



編集後記

知り合いの魚料理屋さんに塩ジャケの切り身をいただいた。さっそく、編集仲間のEさんにもおすそ分け。

結婚した頃は新巻鮭一匹などというお歳暮もあったが、近頃はあまり見かけない。魚を捌けない私には、切り身は便利だがちょっとぽり荒巻鮭が懐かしい。(N)

「ちょうふ環境市民懇談会」は、調布の自然環境を市民・行政・事業者の協働で保全・改善・回復していくために設立されました。2001年から保全活動の交流・支援、人材育成、情報収集・発信、提言などの活動をしています。ぜひご参加ください。

ちょうふ環境市民懇談会

連絡先:調布市環境保全課 tel 042-481-7086

E-mail: kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp

~調布市ホームページでカラー版がごらんいただけます~

市公式HP [くらしのガイド](#) 環境 環境学習 自然だより